



内閣府

令和8年3月6日  
～美ら島の未来を拓く～  
沖縄総合事務局

## 入札監視委員会の審議概要について

### 記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(令和7年度第2回)が、令和8年1月15日(木)に沖縄総合事務局において開催されました。  
審議内容は別紙のとおりです。

令和8年3月6日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

#### 【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 森 明彦

契約管理係長 宮良 長幸

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(令和7年度第2回) 審議概要

開催日及び場所		令和8年1月15日(木) 沖縄総合事務局 2階 共用会議室DE	
委員		委員長 中村 真也 (琉球大学農学部教授) 委員 井上 むつき (税理士) 委員 高 哲 央 (沖縄国際大学経済学部准教授) 委員 田村 ゆかり (弁護士) 委員 中田 幸造 (琉球大学工学部教授) (委員は50音順:敬称略)	
審議対象期間		令和7年4月1日～令和7年9月30日	
抽出案件		総件数 7 件	(備考)
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 抽出案件についての審議に続いて、入札・契約に関する状況等、対象期間における発注案件、指名停止措置の運用状況、再度入札における工事別一位不動状況及び一者入札推移について定例報告を行った。
	一般競争	3 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等		2 件	
役務の提供等及び物品の製造等		1 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容		な し	

意見・質問	回答
<b>抽出事案</b>	
<p><b>1 工事</b></p> <p>◆ 令和7年度那覇港(新港ふ頭地区)岸壁(-10m)(耐震)地盤改良工事</p> <p>○ 入札価格が5社とも同額だが、精密な積算が可能であったなどの事情があるのか。また、調査基準価格については公表しているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間企業の積算精度がかなり上がっていること、また、該当工事は公表されている積算基準に則った積算を行っており、その考え方についても同時に公表している。今回は各社ともに調査基準価格を狙っており、このような入札結果となったと思われる。また、調査基準価格についても、算出方法が公表されているため、積算が合致していれば各社とも近い状態となる。</li> </ul>
<p>◆ 令和7年度統一河川情報装置設置工事</p> <p>○ 入札説明書のダウンロード者数は7社であったが、入札は1社にとどまっている。その理由についてヒアリング等行っているようであれば教えていただきたい。</p> <p>○ 今回の工事内容は既存装置の老朽化に伴う工事だが、そもそも今回落札した業者のシステムが使われていたと考えてよいのか。</p> <p>当該業務は、結局最初に落札した業者が次回更新時にも落札することになる。入札説明書をダウンロードしたのに入札に参加しなかった業者は、結局前回業者が落札すると思ったと思うが、見解は如何か。</p> <p>○ 入札説明書のダウンロード者数について対象者数が少ないと思ったが、これは工事の特殊性に因るものか、そもそも当該システムの関連業者が少ないのか。</p> <p>○ システムのセキュリティ対策はどうなっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札後ヒアリングを行ったが、この時期に技術者を配置できないことが主な理由となっている。</li> <li>・ 平成30年に一部更新しており、落札者は今回の落札者と同じ業者となっている。</li> </ul> <p>特に今回のような機器の購入や特殊なものは、前回落札した業者にノウハウがあるため入札参加することが多い。ノウハウは会社ではなく技術者に因るため、そのノウハウを持つ技術者を使うことで他の業者が落札する可能性はあると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統一河川情報システムを扱える業者が少なく、また、現状のシステムを維持しながらの更新となるため、技術的に難易度が高いと考える。要件としては通信設備工事を実施した者として幅広く設定した。</li> <li>・ 今回の更新にあたっては、かなりセキュリティの強度を上げている。セキュリティ対策は強化していくことが求められており、機器へのセキュリティ対策ソフト等を備えるとともに、ネットワーク自体の監視についても導入し、全体としてのセキュリティが高いもので保たれるよう改善を行っている。</li> </ul>
<p>◆ 令和7年度恩納南BP舗装(その1)工事</p> <p>○ 一括審査方式の対象工事の要件は。</p> <p>○ 当該工事は難易度が高くないシンプルな工事だが、入札価格はバラつきが出ている。この点は、抽出事案1の工事と比較した場合、どのような考え方で見ればよいのか。</p> <p>○ 辞退した業者が3社いるがその理由は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同種工事で、工事現場が近いこと、また発注規模が同程度で同じような工事を同時期に発注する場合に、当該方式を適用しており、年に何件か実施している。</li> <li>・ 積算基準は公表されており、最近では積算の制度が高くなっている。また、参考見積を徴取したものについては公表している。一般的に現道上の工事の場合、一般車両の通行を規制しながら施工するが、今回の場合は一般車両を規制しない2期線側であり、一般交通を気にする必要のない状態で舗装ができ、また規模も大きく、人気のある工事と思われる。このような事情で各社とも調査基準価格ぎりぎりを狙い、そこで各社若干の差が出たと思われる。</li> <li>・ 別途工事を落札したため、技術者の確保ができないことが理由。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p>◆ 令和7年度首里城公園整備工事</p> <p>○ データベースによる対象者数はどのくらいか。</p> <p>○ 総合評価得点結果において、例えば、評価項目「地域精通度・貢献度」の評価の視点「地元企業の下請活用の有無」に関して、業者名の欄に4.0点とあるのは、満点という理解でよいのか。また、全国一律なのか。それとも裁量的に決めることができるのか。</p> <p>この抽出案件では「地元企業の下請活用の有無」の項目が4.0点に対して抽出事案2では3.5点となっている。この違いを教えてください。</p> <p>○ 仮設の水槽は、いずれ撤去するのか。</p> <p>○ 鉄筋コンクリート造の水槽を設置するのに、1級造園施工管理技士で対応できるのか。</p>	<p>・ コリンズの検索によると、県内業者が、A等級14社、B等級88社、県外業者がA等級1社、B等級14社だった。</p> <p>・ 4.0点が満点である。開発建設部の総合評価方式等の運用ガイドラインに基づき配点している。</p> <p>抽出事案2にはISO認証取得という項目があり、取得していたら0.5点加点することになっている。トータルの点数を合わせるために4点から0.5を引いている状況。</p> <p>・ 当面の間は当該水槽を使用するが、いずれ撤去する予定。本設の水槽は埋没型を考えており、今後整備する場所を検討する。</p> <p>・ 公園内での工事であるため「造園工事」で発注している。工事の際には、下請で建築業者が作業をすることになると考えている。</p>
<p>2 建設コンサルタント業務等</p> <p>◆ 令和7・8年度南部国道管理・交通対策関係工事監督支援業務</p> <p>○ 対象者数は269社あり、参加資格要件も十分広げているように見受けられるが、1社入札となった理由について教えてください。</p> <p>○ 評価結果の各点数が小数点第4位まで記載されているのは、どのような理由によるものか。</p>	<p>・ 3社に対してヒアリングを実施したが、いずれの企業も本業務を担当できる技術者の確保ができない状況であり、技術者不足を理由として入札への参加を見送っている。</p> <p>・ 評価者が3人おり、3人の評価値の平均で算出している。今回は平均値が割り切れなかったため小数点4位まで記載している。</p>
<p>◆ 令和7年度平良港防波堤整備検討業務</p> <p>○ 同種業務が34社で、入札説明書のダウンロード者数が28社と多い。一般的に離島の業務は参加しにくい印象があるが、入札を検討するような事情があったのか。また、入札者が2社となった理由を知りたい。</p> <p>○ 今回入札に参加した2社は県外の業者か。</p> <p>落札率が80.27%で決して高くはなく、県外の業者が県内に来てさらに離島となると、余計費用がかかるものと思われる。しかも2社でほぼ同じ入札価格となっている。落札率が99%でもおかしくないような案件ではないかと思いましたが、価格を抑えられるような項目などあるのか。</p> <p>○ 賃上げの実施に関する評価について、配点が-5点となっている。賃上げを実施する企業に対しては加点して、未達成の場合は現状維持でも-5点となるのか。</p>	<p>・ 2社入札とは言え、一般競争は成立しているので具体的なヒアリングは実施していないが、離島であることと、技術者の配置が厳しい状況であったものの推察される。また、ダウンロード者数が一定数あったのは、細部・実施設計といった一般的な構造物の業務であり、要件もかなり緩和しているためと思われる。</p> <p>・ そのとおり。</p> <p>2社とも調査基準価格ギリギリを狙って入札している状況。例えば旅費は協議に応じて積算にも反映されるが、昨今は、WEB合せも可能であるため、その点も勘案したうえでの応札となったと思われる。</p> <p>・ 賃上げ表明を行ったら、その時点で満点の4点となる。減点については、過去に賃上げ表明した企業がその後、表明どおり実施されたか否かの実施状況を確認した上で減点している。</p>

(別紙)

意見・質問	回答
<p>3 役務の提供等及び物品の製造等</p> <p>◆ 令和7年度沖縄道路交通情報システム更新外業務</p> <p>○ 1社入札で落札率99.87%だが、5年前も同じ業者が落札したのか。</p>	<p>そのとおり。</p>
<b>定例報告</b>	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
3 指名停止措置の運用状況	
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	